

慶應義塾全体の実験動物の飼養保管状況等

1. 年度ごとに実験動物の種類と飼養数（全塾）

動物種	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数
マウス	38,460	40,920	40,000	40,900	37,100
ラット	305	305	340	320	530
ウサギ	27	30	22	20	11
モルモット	0	0	0	0	0
スナネズミ	0	0	0	0	0
イヌ	0	0	0	0	0
ブタ	2	2	10	10	11
マーモセット	17	17	12	12	11
ハムスター	200	200	200	200	74
ウズラ	0	0	10	0	10
その他トリ類	67	102	186	141	155

2. 年度ごとの承認された動物実験計画数（1年ごとの更新；全塾）

動物実験計画数	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
	390件	391件	380件	225件	259件

3. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（5年ごとの更新；全塾）

教育訓練受講者数	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
	503人	631人	552人	468人	500人

4. 実験動物飼養保管施設（総数：66施設）

医学部動物実験センター、薬学部芝共立実験動物施設、他64施設

5. 動物実験委員会（計8名）

- （ア）動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名（医学部細胞組織学、
医学部生理学、薬学部薬学科、理工学部生命情報学科、文学部人文社会学科）
- （イ）実験動物に関して優れた識見を有する者：2名（動物実験センター、他大学教員）
- （ウ）その他学識経験を有する者：1名（外部の学識経験者）